

機械器具 3 医療用消毒器

管理医療機器

小型未包装品用高圧蒸気滅菌器

40547020

特定保守管理医療機器

スーパークレーブHS-300

【警告】

- 滅菌室圧力計の針が「0」のときにのみ、ドアを開けること。(滅菌室圧力計の針が「0」のとき以外にドアを開けると、やけどやけがをする恐れがあります。滅菌室圧力計は滅菌室内の圧力の他、温度を表示します。)
- 滅菌性能は被滅菌物の量、入れ方などで変わります。「滅菌カード又は、滅菌テープ」を使用し確認すること。
- 本器の周辺での携帯電話、無線機器、電気メス、徐細動器等高周波を発生する機器を使用する場合は、できるだけ離れた位置で使用する。またこれらの機器とは別系統の電源を使用し、確実に接地を行うこと。(本器に誤作動が生じることがあります。)
- 電源は AC100V、30A 以上の医療用 3P コンセントを単独使用すること。

【禁忌・禁止】

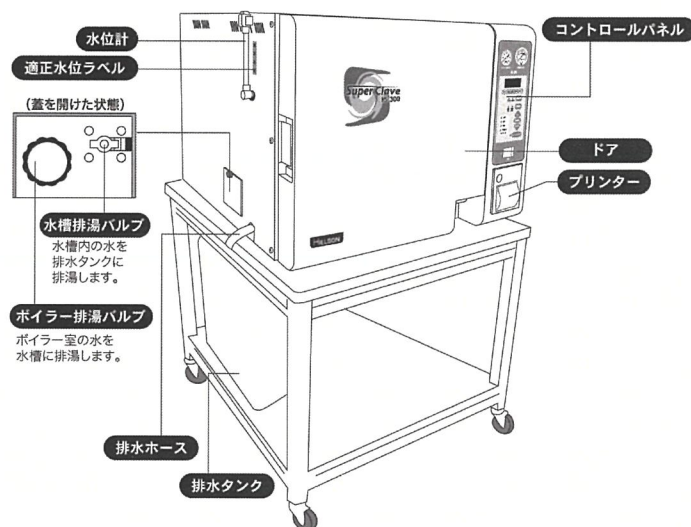
- 蒸気を通さない容器・袋に被滅菌物をいれて滅菌しないこと。(滅菌できなかつたり、故障の原因になります。)
- 培地・液体・薬品を滅菌しないこと。(薬品類には爆発を起こしたり、滅菌室を腐食させるものがあり、けがややけどの原因になります。また、排気時に滅菌室内の圧力が急激に低下するため、容器から培地などが飛び散り、配管やバルブにつまり、故障の原因になります。)
- 可燃性麻酔剤などが存在する引火性のある環境で使用しないこと。(防爆型の機器ではないため、引火又は爆発を誘引する可能性があります。)

- 作動させたままでの外出は危険です。1日の使用後は必ず電源スイッチを切ること。診療終了後、高圧蒸気滅菌器を作動させたまま帰宅し、翌朝取り出すという使い方は絶対に行わないこと。(異常発生の場合の即時対処が行えず、事故に繋がる恐れがあります。)
- 被滅菌物を直接スノコ板に置かないこと。(被滅菌物を焦がす原因になります。)

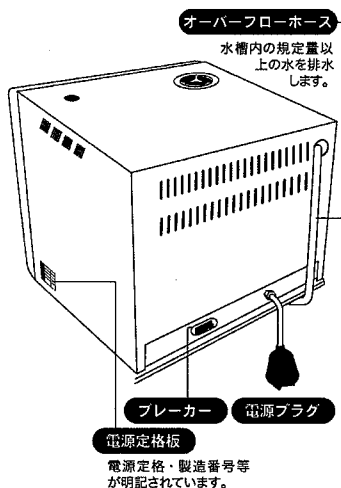
【形状・構造及び原理等】

<各部の名称>

本体外観図



取扱説明書を必ずご参照ください

[illegible]

本器は高圧蒸気により、医療機器等を滅菌するために使用する。

2/4

【品目仕様等】

操作方法	ワンタッチ全自動
滅菌温度	121℃／132℃
温度制御	マイコン・サーミスタ方式
滅菌時間	121℃：20～90分（変更可） 132℃：5～90分（変更可），
乾燥方式	送風ブロー
乾燥時間	0～90分（変更可）
表示方式	デジタル
安全装置	空焚防止装置、安全弁、圧力安全装置、過電流保護ブレーカー、ドア（蓋）インターロック

【操作方法又は使用方法等】

1. 電源スイッチを「入」にします。滅菌室圧力計が「0」であることを確認して、被滅菌物を滅菌室に入れます。
2. 滅菌温度を〔滅菌温度〕切替キーを押して、132℃又は121℃を選択してください。
3. 滅菌時間・乾燥時間を「時間設定」キーを押して、確認してください。
4. ドアを閉じてスタート／ストップキーを押してドアモーターを動作させてドアをロックします。ドアをロックするとプロセスモニターのドアランプが点灯し、工程が自動的に進行し完了します。ドアランプが点灯していないと、スタートできません。
5. 完了になると完了音が30秒間鳴り、完了ランプが点灯しますので、滅菌室圧力計が「0」であることを確認して、スタート／ストップキーを押してドアを開き、被滅菌物を取り出してください。（ドアを開けると蒸気が出ますので手や顔などを絶対に近づけないでください。又、被滅菌物は高温になっていますので、取り出すときは十分に注意してください。）

詳細については取扱説明書の「6. 設置方法」「7. 操作方法」の章を参照。

【使用上の注意】

- ・ 落下、転倒などによる衝撃が加わった場合は使用しないこと。（本器の外観に異常がない場合でも、内部

が破損している可能性があります。）

- ・ 本器の分解、改造をしないこと。
- ・ 電源コードを傷つけないこと。
- ・ 濡れた手で電源プラグに触らないこと。
- ・ 電源コードの抜き差しはプラグを持って行うこと。
- ・ 本器の上に水の入ったものを置かないこと。（水がこぼれたときに、内部がショートして感電の原因になります。）
- ・ 長期間使用しなかった場合は点検を受けるなど、作動上の安全を確認してから使用すること。
- ・ 電源コードは必ずコンセントに取り付け、延長コードへの接続による使用はしないこと。
- ・ 水槽に水を入れたまま移動しないこと。（水がこぼれるなど、感電の原因になります。）
- ・ 直射日光や紫外線照射下に長時間放置しないこと。
- ・ 長期間使用しない時は、本器の電源プラグをコンセントより取り外すこと。
- ・ 本器は水平かつしっかりした床に設置し、また側面、後面は壁から15センチ以上、上部は20センチ以上離して設置すること。
- ・ 本器には指定のアクセサリ、部品以外は使用しないこと。（指定外のアクセサリ、部品を使用した場合、滅菌性能の低下や警報機能が保証できないだけでなく、医療事故につながる危険性があります。）
- ・ 異常時（焦げ臭いなど）は運転を中止し、電源プラグを抜くこと。（異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。）
- ・ 医師又は医療従事者の指導により熟練した人以外は使用しないこと。
- ・ 移動するときは、四人以上でドア以外を持ち、足元に注意して運ぶこと。（誤って落とすとけがや事故の原因になります。）
- ・ 運転中や冷却中に滅菌室周辺に触れないこと。（高温によりやけどの原因になります。）
- ・ 滅菌直後の被滅菌物の取出しには注意すること。（被滅菌物が高温になっており、またドアを開けることによって蒸気が出ますので、手や顔などのやけどの原因になります。）

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

〈貯蔵・保管方法〉

水濡れに注意し、温度5～40℃、湿度10～85%の結露のない室内。

〈耐用年数〉

取扱説明書を必ずご参照ください

保守点検及び専門業者による定期点検を適切に実施
して頂いて製造出荷後 7 年です。(自己認証による)

【保守・点検に係る事項】

- ・ 保守点検、清掃は電源スイッチを「切」にしてボイ
ラー圧力計、滅菌室圧力計の針が「0」になっている
こと、本器が冷めていることを確認してから行うこ
と。
- ・ 定期的な清掃や 2 年に一度、弊社指定の専門業者に
よる点検を行うこと。
- ・ 本器の性能の維持、安全性の確保のために、使用前
点検や保守点検等を実施すること。異常が認められ
た場合、直ちに使用を中止し、弊社担当者までご連
絡下さい。

詳細については取扱説明書の「9. 定期点検」「10. お手
入れ方法」「11. 故障かな?と思ったら」及び「12.
警報および対処方法」の章を参照。

【包装】

1 台/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所
等】

製造販売元

ヒルソン・デック株式会社

埼玉県入間郡三芳町竹間沢 979-3

TEL 049 (259) 3031

製造元

ヒルソン・デック株式会社

取扱説明書を必ずご参照ください